



キャンパス通信



巻頭言／1

本学における研究環境について

NEWS／2

輝くND生／8

各部局から／15

行事予定／18

編集後記／19





図書館情報センター長  
萩原 暢子

# 本学における研究環境について

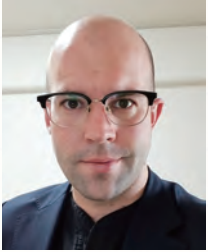
図書館情報センターでは、最新の情報を効率よく提供するために、多様なデータベースや電子ジャーナルを備えており、国内外から迅速に必要なデータ収集ができることなどで、研究活動に貢献しています。さらに、学術リポジトリを構築し、研究成果をインターネットで世界に公開する環境を備えています。

次に、研究に必要な経費の助成を行っています。この助成には、個人研究や共同研究をはじめ、とくに独創的な萌芽研究を奨励するものがあります。また、学術出版や国内外の研修助成も整備しており、これにより研究活動の推進を期待しています。ただ、供出できる経費には限度がありますので、日本学術振興会が行なっている科学研究費への応募を推奨しています。この助成事業については、すべての分野にわたる研究が対象となっており、厳格な審査を経て独創的・先駆的な研究に対して助成が行われます。科学研究費の申請に際しては、研究・情報推進課が説明会や相談対応など、きめ細やかな支援を実施しています。

研究発表の場としては、毎年1回発行の研究雑誌(研究紀要)と、研究発表会の開催があります。最近の発表会では、本学の研究者だけでなく、同テーマを研究する学外の研究者の発表を交えることで、より多角的な議論が実現しました。最新の研究成果を紹介しつつ、専門外の聴衆向けの解説が加えられるなど興味を高める工夫をしており、研究者以外の来場も増えています。研究倫理については、図書館情報センターが直接関わってはいませんが、大学全体として研究対象者の保護や、研究不正の防止に取り組んでいることも、研究環境整備の一環であると考えています。

このように、教員自身のキャリアアップのための研究活動はもとより、地域への情報発信源としての大学の機能を十分に発揮するためにも、研究活動への支援をより一層推し進めたいと思っています。

## 新任教員紹介



国際言語文化学部  
英語英文学科 講師

Daniel Pearce

Kia ora! はじめまして!! I have seen some of you around as I was here part-time at Notre Dame last year. I'm very happy have joined full-time this year, and glad for the opportunities we will have to learn and explore together. I'm from New Zealand, grew up speaking English, and know a tiny bit of Te Reo Māori (マオリ語). I have been teaching and studying in Japan since I was 20. My research interests are bilingualism, plurilingual education, and teacher training. I also have a keen interest in Japan and Japanese - お気に入りの四字熟語を敢えてここで紹介します: 驚馬十駕 (意味を調べてね!). I'm looking forward to helping you develop and grow as language users.

### 公開講座

## 「小泉八雲 多文化の協奏 KWAIDANと怪談」実施報告

開催日:2019年6月22日(土)



本公開講座は、名称変更した国際言語文化学部の発足を記念して開催しました。基調講演は、小泉八雲の曾孫で、小泉八雲記念館長でもある小泉凡先生の「小泉八雲(Lafcadio Hearn)、怪談の旅——アイルランド妖精譚から日本怪異譚へ」でした。アイルランドやギリシャ、日本に共通する口承文学の魅力をわかりやすくお話くださり、ピアノ演

奏なども交えたとても楽しいご講演でした。本学からは、大川淳准教授(英語英文学科)による「耳なし芳一」解釈、堀勝博教授(国際日本文化学科)による「蓬莱」解釈のパネルトークを行いました。

今回は250名を超える参加者があり、NDホールの座席が足りなくなるほどで、盛況のうちに終えることができました。また、関連して、図書館では『怪談』初版本などの展示を行い、多くの来館者がありました。国際的文化交流を設置理念に掲げる新学部の発足にふさわしい講演会になり、開催にご尽力くださった皆さまに感謝いたします。(国際言語文化学部長 岩崎 れい)

会場:ユージニア館NDホール  
参加人数:265名

### 春の講演会

## 「西洋音楽のルーツとしてのカトリック聖歌」実施報告

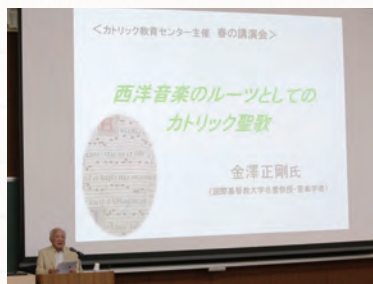
開催日:2019年5月17日(金)

去る5月17日(金)17時30分より、本学NDホールにて日本を代表する音楽学者である金澤正剛氏(国際基督教大学名誉教授)をお招きして春の講演会が行われました。

金澤氏は東京生まれ。ハーヴァード大学大学院博士課程(音楽学)を修了。その後、同大学ルネサンス研究所(フィレンツェ)の所員などを経て、国際基督教大学教授、兼同大学宗教音楽センター所長を務められ、現在同大学名誉教授。日本音楽学会会長等を歴任されています。ご著書は多数ありますが、特に本学必修科目「キリスト教音楽入門」では先生の『キリスト教と音楽』(音楽之友社)をテキストに用いており、学生にとっても馴染み深い方です。

講演の内容は、グレゴリオ聖歌の歌詞が聖書を起源とするところから始まり、聖歌の歴史の概観とその後の音楽の諸形式への発展、そして今日に至る西洋音楽の基礎が聖歌にある根拠などを幅

広い実例とともにお話くださいました。合間には様々な時代の楽曲の音源を聞きながら、西洋音楽の奥深さと豊かさを再認識いたしました。今回の講演会は音楽を専門とする方々が数多く来場されたことも大きな特徴でした。



(カトリック教育センター長 久野 将健)

会場:ユージニア館NDホール

## 公開講座

## 『徒然草』を楽しむ ―ユマニスト兼好の人間洞察― 実施報告

開催日:2019年5月25日(土)



本公開講座(担当:渡邊春美)は、『徒然草』を通して、ユマニスト兼好の人間観察と洞察の面白さに迫ろうとしたものです。私は、学生時代から『徒然草』に魅せられて、繰り返し読んできました。その魅力を、新しい研究の成果も取り入れつつ、以下の3点を中心に、お話ししました。

一つ目は、その内容が、人間やその生き方、社会や政治、無常の世や身の処し方、仏道修行や出家隠棲、人の心や行動、芸道や美意識などと多岐にわたっていますが、それぞれが独自の輝きを放っていることです。二つ目は、兼好法師の人間観察の鋭さと深さに関してです。兼好の筆によってくっきりと浮かび上がるさまざまな人間像と、その人間の本質への洞察の深さは、興味深く示唆に富んでいます。三つ目は、ユマニストとしての兼好の本質的なもの見

方・考え方についてです。ユマニストは、人間らしさを問い、本質に目を向けようとする人を表すことばです。現代に生きる私たちが、『徒然草』からなお多くの示唆を得られるのも、兼好がユマニストとしてのまなざしをもって物事をとらえ書き表しているからでしょう。

当日は、多くの方が会場に足を運んでくださいました。50歳以上、70歳

以上の方々も多数いらっしゃいました。『徒然草』に関心をお持ちの方々、このような催しを通して自らを高め、豊かにしたいとお考えの方々が多いことに感じ入りました。講座終了後のアンケートによれば、「大変よかった」「よかった」と8割を超える方が答えてくださっていました。また、これを機会に『徒然草』を読み直したいとする声が多くあったこともうれしく、ありがたく思います。私自身も、『徒然草』をさらに読み深めていきたいと思いました。ご来場くださった方々に重ねて深謝申し上げます。

(こども教育学科 教授 渡邊 春美)

会場:ユージニア館NDホール  
参加人数:153名

## 自然と遊ぼう! 『見る』ふしぎの巻 実施報告

開催日:2019年7月21日(日)

今回は「見る」をテーマに、理科教育、図工科教育、心理学の分野から遊びを企画。本学内にて、学生と地域のご家族が交流しながら遊びを楽しみました。光を使った科学遊び、絵や模様を動かすことで変化を楽しむ工作遊び、心理学の錯視をモチーフにした遊びなど、共通教育科目「こどもと自然」(旧心理学部「心理・教育フィールド研修a」読替科目)の受講生が試行錯誤で準備を進めました。当日は、こども55名、保護者40名(33家族)と学生(ボランティア等含)77名、教員4名という大人数でユージニア館が賑わい、学生たちの苦勞の甲斐あって楽しい時間となりました。また、葵児童館の館長先生もアドバイザーとして参加してくださり、学生には充実した経験になったのではないかと思います。保護者アン

ケートでは、子どもに合わせて丁寧に対応している学生の姿に多くの方から好評をいただき、私たち教員もうれしい限りです。ノートルダムの学生ならではの良さが発揮できるよう今後も見守り、指導を続けたいと思っています。本プログラムにご協力いただきました教職員の皆様には、この場をお借りしまして感謝申し上げます。今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(心理学科:高井 直美、薦田 未央  
こども教育学科:藤本 陽三、小川 博士)

会場:ユージニア館3階  
参加人数:177名



## 2019年度「認知症サポーター養成講座」を開催しました

開催日:2019年6月12日(水)

6月12日(水)、現代人間学部と左京北地域包括支援センターとの共催で「認知症サポーター養成講座」を実施しました。

3回目となる今回は『認知症にやさしいまちづくり』と題し、基本知識の講義の後、認知症の人と家族の会の鷺巣典代さんから世界規模での現状や若者の実践例が紹介されました。そして、認知症当事者である杉野文篤さん・由美子さんご夫妻が登場くださ



杉野ご夫妻のリズミカルな掛け合い

り、体験を語っていただきました。元高校教員の文篤さんは59歳で若年性アルツハイマー病を抱え、以来、ご夫妻で、当事者としての発信と地域活動を続けておられます。事前にお伝えしていた学生の質問に答えを準備くださり、苦労話だけでなく趣味や生きがいのお話も生き生きと語られました。学生の「親が認知症になった時、子の立場でできることは?」という問いに、「「恥ずかしい」と隠したりしないでほしい。認知症になってから、できること、わかること、感じていることがたくさんある。身近な家族の始めの時期の受け止め方で、それ以降の人生が大きく変わる」と返してくださったのが印象的でした。

終盤は、自分たちは地域で何ができるかをグループに分かれて話し合い、年代・立場を超え個々の事情も大切に扱いながら対話する様子が見られました。

(福祉生活デザイン学科:酒井 久美子・矢島 雅子、  
心理学科:伊藤 一美)

会場:ユージニア館大講義室  
参加人数:31名(学生25名、地域の方々6名)

## 2019年度「シスターズ英語プログラム」実施報告

開催期間:2019年6月10日(月)~6月21日(金)



2010年に始まったシスターズ英語プログラムが10年目を迎えました。今年は、博士号をお持ちの大学教授のシスターお二人が応募して下さり、サンノゼ州立大学のシスターメリーワナーと姉妹大学のマウントメリー大学のシスターリングメリーボスが来日して下さいました。ところがシスターリングメリーボスが到着後に転倒され怪我をされたのですが、2日の休講だけでそのまま授業をして下さいました。2週間、シスター方に教えて頂いたのは他学科の学生をも含み延べ人数で754名の学生達でした。お二人とも、とても自然に学生に交じって話をして下さり、それぞれの御専門のお話からゲームまで学生のレベルに合わせて下さったの



で、学生たちも楽しそうでした。これぞプロの仕事という感じでした。ノートルダムの原点であるシスター方にもっと出会ってほしいという思いのプログラムであり、また、シスター和田理事長を中心としたノートルダム教育修道会の皆様の善意に支えられ、10年の節目の年をこのように恙なく終えることが出来たことに、心から感謝申し上げます。

(英語英文学科 教授 須川 いずみ)

会場:ユージニア館イマージョンスペース  
参加人数:12名

## 「教員免許状更新講習」実施報告

今年度の教員免許状更新講習を8月5日(月)～7日(水)、19日(月)～23日(金)の計8日にわたり実施し、幼・小・中・高・特別支援学校の先生方など延べ415名が受講しました。

本学の更新講習の特長は、(1)講師が現職経験者を含む専任教員が中心であり、日々の教育実践に役立つよう工夫していること、(2)ワークショップ等、体験を通した学びも取り入れていること、(3)必修・選択必修・選択領域を受講すれば計30時間の充足も可能であることです。

8月7日(水)に実施した「全員が主体的に活動できる運動遊び・体育授業のポイント」(講師：住本純)は、運動が苦手な子どもであっても、主体的に取り組み、運動の楽しさや達成感を得ることができる運動遊び・体育授業のポイントについて理解を深め、各学校の教育に生かそうという講習で、受講した38名は、実技を交えながら理論と実践を学び、「実際に園でも実践できる内容で大変勉強になった」「実際に動いて行うことで楽しさを実感できた」などの声が寄せられました。

受講環境に関しても「大学構内はきれいで設備も整っており受講しやすい環境であった」などの意見が聞かれました。

次年度も受講者の皆さまの期待に応える更新講習を実施していきたいと考えています。



コード	講習名	開催日	時間数	講師	主な対象者	受講者数
A01	【必修】教育の最新事情	8月22日(木)	6時間	藤本 陽三 藤田 未央 佐藤 睦子 辻 敦子	全教員	72
B01	【選択必修】教育の情報化に対応する実践力育成(幼・小)	8月23日(金)	6時間	神月 紀輔	全教員	37
B02	【選択必修】教育の情報化に対応する実践力育成(中・高)	8月21日(水)	6時間	神月 紀輔	全教員	24
C01	【選択】日本年中行事を学ぶ —学校教育への活用の視点から—	8月5日(月)	6時間	堀 勝博	全教諭	51
C02	【選択】全員が主体的に活動できる運動遊び・体育授業のポイント	8月7日(水)	6時間	住本 純	幼保連携型認定こども園、幼、小、中・高教諭(保健体育)	38
C03	【選択】精神保健に課題のある保護者の理解と対応	8月6日(火)	6時間	佐藤 純	全教員	78
C04	【選択】遊びから学びにつなげる音楽活動	8月5日(月)	6時間	植田 恵理子	幼保連携型認定こども園、幼、小教諭	39
C05	【選択】異文化理解と協同学習	8月19日(月)	6時間	東郷 多津 吉野 康子	全教員	39
C06	【選択】アクティブラーニングとESDの実際	8月20日(火)	6時間	大西 慎也 小川 博士	全教員	37

## 2019年度科研費採択について

科学研究費助成事業(科研費)は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする国の助成制度です。

2019年度、本学では28件の申請を行い、うち9件が採択されました。昨年度以前から継続中の研究と合わせて現在28件の研

究が行われています。また、これらとは別に本学の教員が、「研究分担者」として共同研究を行っている課題が20件あります。このことは、本学の規模の文系大学としては、研究が盛んに行われている成果と評価できます。

以下は、2019年度の新規採択課題(本学教員が研究代表者)です。

所属・職名	研究代表者氏名	研究種目	研究課題名
福祉生活デザイン学科 教授	藤原 智子	基盤研究(B)	摂食リズムの非同期による時計遺伝子の記憶が誘発する女性生殖機能異常の総合的解析
こども教育学科 教授	渡辺 春美	基盤研究(C)	作品・分野別漢文教育実践史に基づく漢文教育改善の研究
こども教育学科 准教授	古庵 晶子	基盤研究(C)	読譜視線計測に基づいた高齢者ピアノ学習におけるつまずき改善
心理学科 教授	高井 直美	基盤研究(C)	小学生の学習適応に関連する幼児期の環境とその支援効果について
心理学科 准教授	三好 智子	基盤研究(C)	ASD学生の能力・才能を専門職就労へとつなげる専門教育-キャリア支援モデルの創出
心理学科 准教授	空間 美智子	基盤研究(C)	価値割引の枠組みを用いたASD児の社会性のアセスメントツールの開発
英語英文学科 准教授	杉村 美奈	若手研究	格の省略がもたらす意味解釈への効果に関する理論研究
心理学科 講師	後藤 伸彦	若手研究	社会的アイデンティティの多寡と実行機能の関係と高齢者の実行機能維持への応用可能性
英語英文学科 講師	ダニエル ピアース	研究活動 スタート支援	小学校英語教育のための複言語教育を活かした チーム・ティーチング授業教材の開発

## 2019年度 FD研修会実施報告

開催日:2019年9月4日(水)

2019年9月4日(水)、本学の教員を対象としたFD研修会が開催されました。参加者数は58名(教員53名、職員5名)でした。

今回は、「大学の授業改革が求められる時代に向けて～動画教材「大学の授業を極める」で学ぶ教授法～」と題しアクティブラーニングをテーマにしました。「アクティブラーニング」は「教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称」と定義され、本学の授業では広く取り入れられています。

研修会の前半は、ドラマ仕立ての動画教材『シリーズ大学の授業を極める:アクティブラーニング編』(関西地区FD連絡協議会作成)をもとに、授業の質を高めるためのポイントを共有しました。後半では、授業設計の際に検討すべき要点を意識し、授業計画書を作成する個人ワークと、作成した授業計画書を共有するグループワークを行いました。参加者アンケートでは、「今後の授業設計の参考にできそう」「他の教員の授業設計の例を共有でき

てよかった」など、おおむね有意義であったとの評価が得られました。一方で、「他のテーマがよかった」と「時間が短すぎた」との意見もありました。研修の成果は、今後の授業に生かされることでしょう。



## 前期卒業式が執り行われました

開催日:2019年9月25日(水)

2019年9月25日(水)10:30から、ユージニア館3階の聖堂にて、前期卒業式が執り行われ、5名の学生が本学を卒業しました。

教職員や保護者が見守る中、真田雅子学長から卒業生一人ひとりに卒業証書が授与されました。真田学長からは、「意識的な沈黙の時間を持ち、この京都ノートルダム女子大学に学んだからこそ身に着けることができた本学のミッションコミットメントに掲げられている四つの動詞(尊ぶ、対話する、共感する、行動する)の実現をめざして生涯を生きていかれますように」との言葉がありました。式典終了後は写真撮影がおこなわれ、お世話になった教員との別れを惜しむ卒業生の姿が見られました。



## 2019年度海外危機管理セミナーが開催しました。

開催日:2019年8月7日(水)

2019年8月7日(水)に、本学の教職員を対象とした「緊急時における海外危機管理セミナー」と、海外留学や海外研修で渡航する学生を対象とした「海外危機管理セミナー」をジェイアイ傷害火災保険株式会社の協力を得て開催しました。

このセミナーは毎年テーマを決めて行っているもので、教職員を対象としたセミナーでは、緊急事態発生時に求められる初動体

制、家族対応、マスコミ対応についてワークショップスタイルで確認をしました。

また、学生を対象としたセミナーでは、約50名の学生が出席し、海外での治安や起こりうるトラブル、またリスク回避のために注意すべきことについて具体的な事例をもとに学びました。



学生対象セミナー



教職員対象セミナー

## 「土曜公開講座」のご案内

カトリック教育センターでは、毎年秋に「今を生きるために キリスト教の思想・文化にふれる」という趣旨のもと、一般・教職員・学生を対象に公開講座を開催しております。

今年度は10月12日に久野将健(国際日本文化学学科教授)「J.S.バッハのオルガン作品におけるイタリア音楽の影響」、藤本陽三(こども教育学科特任准教授)「チェンバロをつくらう」、11月30日にSr.中里郁子(国際日本文化学学科准教授)「シエナの聖カ

タリナ『対話』における「靈魂の橋」、中村久美(副学長・福祉生活デザイン学科教授)「住様式研究にみる住まいと暮らしの古今東西ー宗教・文化が関わる“入浴”“収納”ー」が予定されております。各回とも14:00~16:10まで、入場無料・予約不要です。多数のご来場をお待ちしております。

(カトリック教育センター長 久野 将健)



## ND祭に向けて

今回のテーマは「青春～アオハル～」です。友達とさまざまなことを話し、笑いあう。夢に向かって競い合う。好きな人、憧れの人を想う。何もない日をただゆっくり過ごす。『青春』には、たくさんの形があります。『青春』とは、若い時期を『人生の春』と例えている言葉だそうです。私たちは、来てくださる方、参加してくださる方、ご協力してくださる方に、このND祭が『人生の春』の思い出の一部になるような、温かく心躍る2日間にしたいと思っています。

今年度のND祭は10月26日(土)、27日(日)に開催します。メインイベントとして、26日(土)にNHK連続テレビ小説をはじめ、さまざまなドラマや映画、舞台上で活躍されている俳優・小関裕太さんをお迎えして魅力的なトークショーを、27日(日)には吉本興業のお笑い芸人さんをお迎えしてお笑いライブを開催することが決定しています。また、今年は新たなイベントも決定しています。さらに、クラブやゼミ、地域の事業者の方々による模擬店や展示、本学の学生による日ごろの活動の成果をご覧くださいクラブ発表も両日開催します。例年大好評のカラオケ大会や寄席、スタンプラリー、宝探しなどのイベントも企画中です。

今年度の実行委員は総勢63名3部門。前年度の倍の人数となり、人員に余裕ができたため、新しいことを取り入れていこうと動いています。そのため、ND祭に向けての準備は大変な部分もありますが、それぞれができることを全力で取り組み、協力し合って準備を進めています。また、学内と学外、さまざまな分野で多くの方にご協力いただき、私たちの思いを形にすることができています。このことを心に留め、感謝の気持ちを忘れずに当日に向けて実行委員一同頑張っています。

2019年度ND祭 10月26日(土)・27日(日)



当日はND祭で少しでも青春を感じて、楽しい気持ちになっていただければと思います。

2019年度ND祭へのご来場を心よりお待ちしております。

(ND祭実行委員長 心理学科 2年次生 染川 美颯)

## 2019年度特待奨学生証書授与式

2019年7月17日(水)

2019年7月17日(水)12:30より、ユージニア館3階NDホールで、2019年度特待奨学生証書授与式を執り行いました。真田学長より2年次から4年次の特待奨学生一人ひとりに、特待奨学生証および特待生奨学金10万円の目録が手渡されました。

特待生奨学金は、前年度に極めて優秀な成績を収め、かつ人物が優れ、ほかの学生の模範であると認められた者に給付されるものです。特待生として認められた皆さんが、知性と品性を兼ね備えた自立した女性をめざしてさらに熱意をもって勉学に励み、本学のリーダーとして活躍されることを期待しています。



### 特待奨学生

#### 4年次生

英語英文学科	福島 明星
国際日本文化学科	松本 若菜
生活福祉文化学科	亀江 愛理
心理学科	西田 陽美
心理学科	屋我 優奈

#### 3年次生

英語英文学科	ブトリ グリアンティ
国際日本文化学科	中村 真優
福祉生活デザイン学科	和田 理恵子
心理学科	今田 朱香
こども教育学科	坂本 結衣

#### 2年次生

英語英文学科	岩永 真由子
国際日本文化学科	井上 歩佳
福祉生活デザイン学科	松村 日向
心理学科	山本 紗規子
こども教育学科	上田 菜穂

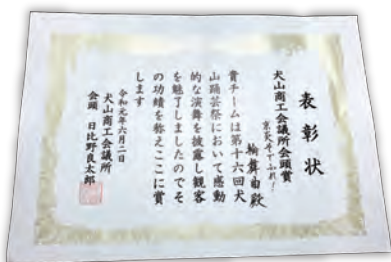
## 「京炎そでふれ! 輪舞曲」活動報告

2019年6月1日(土)・2日(日)



「京炎そでふれ! 輪舞曲」は、京都ノートルダム女子大学と龍谷大学の合同サークルです。「学生の燃えるような想いを京都から全国に発信したい」という想いで日々練習に励み、地域活性化のため、小学校や老人ホームでの披露、全国各地で行われるお祭りに参加しています。

2019年6月1日・2日の2日間にわたり、愛知県犬山市で開催された「犬山



踊芸祭」に出場し、2018年度オリジナル演舞「歌舞吼」を披露しました。この演舞のテーマは、京都南座です。役者・裏方一つとなって、唯一無二の舞台を作り上げるといったストーリーで、南座の一日を表現した演舞となっています。

この犬山踊芸祭で「歌舞吼」は振り納め(踊るのが最後)だったのですが、輪舞曲は約100チームの中から8チームのファイナルに選出していたいただき、全体の4位である『犬山商工会議所会頭賞』という、栄えある賞をいただきました

日頃から、輪舞曲を応援してくださり、本当にありがとうございます。

これからも、「京炎そでふれ! 輪舞曲」をよろしくお願いたします!

(「京炎そでふれ! 輪舞曲」副代表 こども教育学科 3年次生 加藤 ゆりの)

## 「ゲーム&JYU!JYU!焼肉大会」実施報告

2019年6月6日(木)

6月に新入生歓迎とクラブ生の交流を目的とした、総クラブ主催「ゲーム&JYU!JYU!焼肉大会」というイベントを企画しました。

イベント当日は天候にも恵まれ、まずは中庭に集まって、ジェスチャーゲームやデカパン競争などチーム対抗でゲームをし、参加者同士仲を深めました。ゲームの間、焼肉担当のクラブ生がたくさんのお肉や食材の準備をし、中庭にはとてもいい匂いが広がっていました。当日は約150名の参加があり、大盛況のうちにイベントを終えることができました。

今年度も参加者の皆さんが笑顔で楽しんでいる様子を見ることができ、このようなイベントを企画してよかったと嬉しく思っています。

またクラブの活性化や学生同士のコミュニケーションを図るだけでなく、クラブの新入部員獲得にもつなげることができました。

これからも、クラブが活気にあふれるような楽しい企画で盛り上げていきたいと思っています。(総クラブ長 英語英文学科 3年次生 徳永 樹菜)



## 本学の留学生1名が京都府名誉友好大使に任命されました。

2019年度の京都府名誉友好大使15名のうちの1名として、本学のベトナム出身のニュエン・ティ・トウ・ジャンさん(国際日本文化学科2年次生)が選ばれました。2019年6月19日(水)に京都府立府民ホールにて、京都府名誉友好大使の任命式が行われました。主な活動として、母国の文化を京都府民に発信し、また世界各国の人々には京都府の文化を伝えることで、相互理解のために力を注ぎます。



## フレンドフーズ有限会社と協同開発スイーツを販売



福祉生活デザイン学科の食生活デザインゼミ(藤原担当)では、本学とフレンドフーズ有限会社の産学連携に関する包括協定のもと、野菜を用いたスイーツの共同開発に取り組みました。

嗜好性、栄養性、機能性、安全性などの観点から多角的に検討を繰り返して完成した三種類のスイーツのうち、まず2019年4月12日(金)に根菜入り「米麹のパウンドケーキ」と「おやさいぼーる」

を学生が店頭で商品説明を行いながら販売し、二日間で完売することができました。続いて5月31日(金)にはフードロス削減と嗜好性の両立をめざした「人参ジャムの宝石クッキー」の販売を行い、前回の販売から楽しみに待ってくださったお客様もあってわずか一日で完売しました。

開発を通して得た製造や流通のプロからの助言や店頭で交わした購買者とのコミュニケーションは学生にとって今後のキャリア形成に繋がる貴重な体験となりました。

(福祉生活デザイン学科 教授 藤原 智子)

## 京都市中央卸売市場「食彩市」で本学学生が一日場長として活動

福祉生活デザイン学科では、本学と包括連携協定を結んだ京都市中央卸売市場について、市場の機能に関する講義の受講やセリの見学などさまざまな学びの機会を得ています。



2019年6月8日(土)に開催された京都市中央市場市民感謝デー「食彩市」では、本学科学生6人が市場について学び得た知識を生かし、一日場長として活動しました。金屏風の前で執り行われた委嘱式でそれぞれが委嘱状をいただいた後、食彩市を巡回し、来場された市民の皆さんに市場の役割をPRしました。午後にはキッズディーの催しに集まった子どもたちに、市場の仕事を紙芝居でわかりやすく説明しました。また子どもたちと一緒にお菓子を作ったり、クイズをしたり、楽しいイベントとなるよう一生懸命盛り上げました。

このときの様子は京都新聞(6月9日)ならびに食料新聞(6月10日)の紙面で紹介していただきました。

(福祉生活デザイン学科 教授 藤原 智子)

## ワークセンター Halle! との連携・協働によるオリジナルクッキーが完成

福祉生活デザイン学科 地域福祉と活動ゼミ(酒井担当)では、地域協働ふるじえくとして、地域にあるさまざまな課題に着目し、自分たちにできることを考え、活動に取り組んでいます。この活動の一環で、障がい者就労支援事業所のみなさんとさまざまな協働活動に取り組んでいます。そのようななか、大学からオリジナル商品をゼミ学生と事業所とで考案できないかとお話をいただきました。学生、事業所双方に相談し、大学のミッションコミットメントを盛り込んだオリジナルクッキーを考案することとなりました。ゼミ生一人ひとりが提案したものの中から、ミッションコミットメントを花言葉で表現したクッキー、♡の形一つずつにミッションコミットメントを表し、4枚合わ



せると四つ葉のクローバー(=幸せ)となるようなパッケージを作ることとなり、事業所に何度も試作をしていただきました。学生一人ひとりの思いを形にさせていただき、オリジナルクッキーが完成しました。

(福祉生活デザイン学科 准教授 酒井 久美子)



## フレッシュマンセミナー実施報告

フレッシュマンセミナーとは、4月に入学した1年次生を対象に、大学生活への適応を促進することを目的としたイベントです。所属する学科の教員や上級生、新入生同士の交流を通じて、共に学ぶ仲間と仲良くなる絶好の機会でもあります。新入生の皆さんは、大学生活に馴染む良いきっかけとなったのではないのでしょうか。以下、各学科の実施内容を報告いたします。

### 英語英文学科

4月16日に英語英文学科のフレッシュマンセミナーが、ユージニア館大講義室で開催されました。学生間および学生と教員間の交流を深めることを目的とする、今年度のフレッシュマンセミナーでは、1年次生によるPoster Presentationと教員に関するクイズなどを行いました。Poster Presentationでは、各学生が4セッションに分かれて、英語による自己紹介を行い、その後、Simpson講師の指導のもと、その日のfeedbackの執筆を行いました。なお、feedbackはImmersion Spaceに掲示しています。また、実施したアンケート調査の結果の一部を最後に紹介いたします。

- ・先輩のみなさんの貴重なお話を聞くことができたので、これからの自分の大学生活でとても力になりました。
- ・先生のこともいろいろ知れたし、初めて話した人ともたくさん話せてよかった。
- ・今までに話したことがない子たちと話すことができたので、とても嬉し

かったし友だちも作れたので良かったです。  
 ・先輩と少し留学の話ができて、いろいろ参考になりました。  
 (英語英文学科 准教授 大川 淳)



### 国際日本文化学科



午前中は、アクティブ・ラーニング・スペースに集合し、学科の交流行事を行いました。学科の2~3年次生がリーダーとなって司会を担当し、自己紹介、教員紹介などした後、クイズ大会が行われまし

た。京都や大学に関するクイズをグループ対抗で行い、回答が分かれた時など、とても盛り上がりました。午後は、同じグループで、京都市内のエクスカーションに出かけました。4つのコースがあり、それぞれのコースに「新しい縁を結ぶ道」「ちょこっとぶらり祇園を歩こう!」「三十三間堂付近ゆるっと\*散歩コース」「京都えき今昔さんぽ」というタイトルがついていました。2時間半ほどの行程でしたが、途中いくつかのポイントで学科リーダーや教員による解説がありました。新入生にとっては、京都に親しむだけでなく、上級生や教員と知り合う格好の機会となったようです。

(国際日本文化学科 教授 堀 勝博)

### 福祉生活デザイン学科

福祉生活デザイン学科では、キャンパスオリエンテーリングとBBQを行いました。オリエンテーリングでは、5つのゼミグループで各教員の研究室や指定場所に行き、教員や上級生とゲームやクイズ、スタンプラリーを行いました。BBQでは、教員が腕を振るいつつ、学生も協力して焼きそばや焼肉を作りました。終了後のアンケートでは「先生の意外な一面を知ることができて楽しい雰囲気になってよかった」「スタンプラリーで協力できたことでゼミの仲間と仲良くなった」「焼きそば、お肉がおいしかったです」との意見が多く寄せられました。「上級生との交流が少し足りなかった」との意見もあり反省点はありますが、全体では「有意義だった:74%」「少し有意義だった:22%」とのアンケート結果が得られました。本セミナーの企画が教員、学生の交流に役立ったことはたいへんうれしく思っております。皆様にはご協力をいただき、誠にありがとうございました。

(福祉生活デザイン学科 講師 安川 涼子)



2019年4月16日(火)

## 心理学科

昨年に引き続き、二度目の上級生リーダーを務めさせていただきました。当日はNDホールでオリエンテーションからスタート。最初の方は慣れない友達関係や環境に戸惑っている様子が見受けられましたが、上級生企画の大学生活紹介やクイズが進行していくにつれ緊張もほぐれ、1年次生同士の会話が増えてきたように感じました。また、私自身も初対面の1年次生に緊張気味でしたが、このオリエンテーションで空気も和み、積極的に話をしてくれる1年次生や担当グループの先生にも助けられながら少しずつコミュニケーションが取れるようになりました。その後は、午前と午後のレクリエーション。午前は外で体を動かし、午後は頭を働かせチームで協力して謎を解くレクリエーションでした。最初は恥ずかしがっていた新入生も最後には笑顔で楽しんでくれたことがうれしかったです。今回たくさんの1年次生と接することができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。1年次生にとってもこの一日がよい大学生活のスタートになってくれていたらうれしいです。

(心理学科3年次生 角野 天音)



## こども教育学科

こども教育学科フレッシュマンセミナーは、私たち新2年生の企画・運営で楽しく充実したものになりました。

最初に大学生活と教員紹介を行い、次にみんなでレクリエーションを行って、楽しく盛り上がりました。楽しく汗をかいた後は、クラス対抗のポッチャ大会です。ポッチャは、障害の有無に関わらず誰もが楽しめるパラリンピック種目です。この企画は、NEC 東京オリンピック・パラリンピック推進本部様の全国ポッチャ普及キャラバンのご協力で、ポッチャボールを学科に寄贈いただいたことで実現しました。一気にクラス内の距離が縮まったように思いました。

障害のある人が働く事業所のパンなどでのランチタイムや、シュークリームを味わいながらのティータイムでは、授業のことやサークルなどの大学生活について私たちといっぱい話しました。

### 感想

体が不自由な方でも簡単にできるスポーツだと思いました。私が先生になったら障がいのある子とクラスメイトが仲良く遊べるようにポッチャをしたいと思いました。

(こども教育学科 2年次生 雲川 育子)



## グローバル英語コース留学・セメスター認定留学・韓国カトリック大学交換留学を終えて

2019年度前期にグローバル英語コース留学制度ならびにセメスター認定留學生制度、韓国カトリック大学交換留学制度による留学から帰国した学生たちが自分たちの留學生生活について報告してくれました。



一番左が  
内藤さん

### 内藤 沙耶さん

英語英文学科3年次生



留学先 オーストラリアン・カトリック大学(オーストラリア)  
留学制度 グローバル英語コース留学  
留学期間 2018年8月～2019年7月

私がこの留学を通して学んだことは、一人の人間としての自立です。

留学当初は困ったことがたくさんありました。例えば、授業開始初日にバスを乗り間違え、携帯も使えず迷子になったりしました。シドニーで留學生生活をしている間にさまざまな国籍の人と出会い、助けていただき、オーストラリアの国民性は素晴らしいと感じつつも、私自身自立していかなければならないと強く思いました。

時に私一人だけでは解決できない問題もありました。その度に私のホストファミリーは私をサポートしてくださいました。私が自分でできることは自分で、できないことは彼らが手伝ってくれ、本当の家族のように感じていました。留学中は今までやってこなかった家事のお手伝いに挑戦し、両親の大切さ、ありがたみをあらためて感じる一年間でした。この留學生生活は私にとって、自分自身を成長させる時間であり、かけがえのない経験です。

### 立石 紗樹さん

英語英文学科3年次生



留学先 リーズ大学(イギリス)  
留学制度 グローバル英語コース留学  
留学期間 2018年10月～2019年8月

私はこの留学を通して、一人暮らしの大変さや慣れない環境に自分を適応させる方法、そしていつも周りにいてくれる家族や友達の大切さなど本当に多くのことを学びました。

最初は本当にさみしさを感じることもありましたが、現地で多くの友人ができて、また京都ノートルダム女子大学から一緒に留学に来た友達との仲も深まり、留学中に不安感はありませんでした。

リーズ大学の先生方もすごく懇切丁寧に教えてくださるので、勉強に関する疑問も解決しやすかったです。また、この留学中に自分にもっと向き合うことができるようになったと思います。自分の長所、短所、将来何がしたいのかがより鮮明になったのではないかと感じています。

この留学経験は、これまでの私の人生の中でとても大きな位置を占めています。決して辛いことはないのですが、リーズ大学に留学できて本当によかったと思っています。



右から6人目が  
立石さん

左から2人目が  
中川さん

### 中川 璃穂さん

英語英文学科3年次生



留学先 ワシントン大学(アメリカ)  
留学制度 セメスター認定留学  
留学期間 2019年3月～2019年8月

日本の文化と全く違うアメリカでの生活は、すべてが新鮮でとても楽しかったです。それと同時に、苦労したこともたくさんありました。

アメリカに渡航した当初は、ホストファミリーとの会話や授業中に聞こえてくる単語を聞いて、「多分こう言っているんだろうなあ。」と考えることが精一杯でした。質問されてもYESかNOでしか答えられず、文法や発音の誤りを気にして、自分から会話を切り出す勇気も出ませんでした。

しかし、ワシントン大学では、放課後や休日に留學生のためのイベントやアクティビティが開催され、英語力を上達させる機会がたくさんありました。参加しているうちに、だんだん会話の内容を理解できるようになり、自分自身の意見を述べる機会も増え、少しずつですが、身をもって成長を感じることができています。私は、この留学で得た知識や語学能力、対人能力などを、帰国後もさらに伸ばしていきたいと考えています。



前列右から2人目が  
大杉さん



## 大杉 恵美さん

英語英文学科3年次生



留学先 韓国カトリック大学(韓国)  
留学制度 韓国カトリック大学交換留学  
留学期間 2019年2月～2019年6月

韓国へ行った当初の私は、韓国語に自信が持てず、頑張って何かを伝えようとしても単語力が不足していて伝わらず、相手に聞き返されることが他の人の倍はあり苦労しました。

しかし、そこで間違いを恐れて韓国語を使う機会を失いたくなかったため、積極的にコミュニケーションをとるべく行動しました。

大学の授業は現地の学生と一緒に受けるのですが、わからない時は韓国人の友達が教えてくれたおかげで最後まで楽しく充実した留学生活になりました。また、大学の授業と並行して語学堂(韓国カトリック大学の韓国語学校)にも通っていました。語学堂ではアジア系の学生が多いのですが、ヨーロッパ系の友達もでき、文化の違いを共有しながら韓国語を学べました。

課外活動ではサークル活動の一環として、学園祭での屋台運営や留学生対象の文化体験に参加するなど良い経験になりました。

これらの交換留学生として体験したことを今後の学生生活に生かしたいです。

## 2019年度 夏期海外研修が実施されました

2019年度夏期海外研修として、5つの研修が実施されました。それぞれの研修に参加した学生は充実した時間を過ごすことができました。

### 1) イギリス英語研修(カンタベリークライストチャーチ大学) (イギリス カンタベリー)

2019年8月18日(日)から9月8日(日)までの22日間にわたり、イギリスのカンタベリークライストチャーチ大学において実施されたイギリス英語研修に2名(英語英文学科2名)が参加し、無事に帰国しました。参加者は、授業やフィールドワーク、ホームステイを通して、英語を上達させるとともにイギリスでの伝統文化や生活習慣などについても学ぶことができました。



### 2) ロンドンファッション研修 (イギリス ロンドン)

2019年9月8日(日)から9月15日(日)までの8日間にわたり、ロンドン芸術大学にてロンドンファッション研修が実施されました。福祉生活デザイン学科の青木加奈子講師の引率のもと、参加者計13名(英語英文学科4名、国際日本文化学科2名、福祉生活デザイン学科4名、心理学科2名、こども教育学科1名)は、学生寮に滞在し、英語でイギリスのファッションの歴史や文化、現代のファッション事情を学びました。また実際にレザーのクラッチバッグを制作したり、博物館の見学などを通して、ファッション業界についての知識を増やしました。



### 3) 韓国語研修 (韓国 富川市)

2019年8月4日(日)から8月18日(日)までの15日間にわたり、韓国の富川(プチョン)市にある韓国カトリック大学において実施された韓国語研修に7名(英語英文学科2名、国際日本文化学科3名、福祉生活デザイン学科1名、心理学科1名)が参加し、無事に帰国しました。参加者は、授業やフィールドワーク、寮での現地学生との生活を通して、韓国語を上達させるとともに韓国の文化や歴史、習慣などについても学びました。



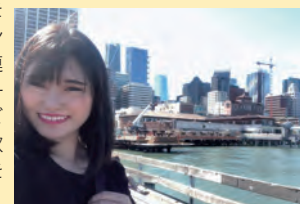
### 4) 海外インターンシップ (ニュージーランド オークランド)

2019年8月24日(土)から9月15日(日)までの23日間にわたり、ニュージーランドのオークランド市内にある学校でインターンシップ(就業体験)が実施されました。本学から1名(英語英文学科)が参加し、英語での学校教育体験、ホームステイを通じて、ニュージーランドでの教育方法について学び、コミュニケーション能力、積極性や責任感を養うことができました。



### 5) 海外インターンシップ (アメリカ カリフォルニア州)

2019年8月25日(日)から9月15日(日)までの22日間にわたり、アメリカのカリフォルニア州シリコンバレーにある貿易会社でインターンシップ(就業体験)が実施されました。本学から1名(英語英文学科)が参加し、英語を使って貿易事務、マーケティングやシステム管理などの一連の業務を経験しました。ホームステイでの生活を通じて、ビジネスに必要な会話力、柔軟な対応力や積極的な行動を身に付けることができました。



ND教育センター

10月1日「徳と知教育センター」から「ND教育センター」へ

平成29年度の本格始動から3年目を迎えた「徳と知教育センター」は、「本学らしい学びの質的転換の推進役」をめざし、主に共通教育の整備に努めてきました。この度、その後の大学教育への要請に応じて、教育の質の向上とその保証へのいっそうの取り組みをわかりやすく大学内外に発信する必要から、「京都ノートルダム女子大学教育センター」に改称しました。さらにこの機会に、学生への学修支援の業務を規定化すると同時に、より精力的に業務を遂行できるよう、部会の設置も視野に入れ、規程を整備しました。

改称にともない、センターのオリジナルサイトをリニューアル、

Twitterも始めています。サイトのタイトル「ND教育センター」は、内外への発信の便宜から名付けた通称名です。全学基盤教育に関わる開発、整備や検証、それに学修支援の拠点として、「ND教育センター」の取り組みへの理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

(ND教育センター長 中村 久美)

ND教育センター オリジナルサイト・Twitterオープン!!  
 オリジナルサイト <https://www.notredame.ac.jp/ndec/>  
 Twitter [https://twitter.com/ndeducation\\_c](https://twitter.com/ndeducation_c)

ND教育センター

2019年度前期 一年次生必修科目「ノートルダム学」実施報告

「ノートルダム学」は、学生が知性と品性を兼ね備えた人間になることを目標に実施している一年次生の必修科目で、「自校教育」「キャリア教育」「日本伝統文化」を軸に授業を行っています。

とくに、5月24日(金)には華道末生流笹岡家元の笹岡隆甫先生(本学客員教授)による華道が、6月21日(金)には茶道裏千家・茶道総合資料館副館長の伊住禮次朗先生により茶道が、今年も大がかりな実演とともに紹介されました。

また、神月紀輔教授(こども教育学科)による「高校までと大学からの学びの本質的な違い」やネット社会で情報を正しく扱うためには「判断力」「自制力」「責任力」、さらに相手への「思いやり」が必要であるといった具体的な講義は、学生に非常に好評でした。

今年度は、新しく眞田雅子学長による90分間の講義「小説：眞田雅子 ～20歳の問いを問い続けて～」を行いました。眞田学長が学生の時に受講した「キリスト教学」でキリスト教に出会い、大学院生の時にはカトリックの洗礼を受けられたこと、20歳の時に「イエスは本物か?」と思ったことを今も問い続けていること、そして、知人友人・恩師、留学先などでの出会いを含む様々な人との出会いが自分のキャリアにも大きく影響を与えてきたという経験などを話されました。

「ノートルダム学」では全受講生の授業コメントをresponで共有しており、眞田学長による授業の最後にも、「多様な方々との出会いによって広がる自分の心について、思うところを述べよ。」という課題が課されました。一年次生からは、右に代表されるような授業後のコメントが集まり、全受講生で共有しました。



眞田学長による講義(7月5日(金))

学長はお父さんとお母さんの娘さんとして生まれたことで教師への道をめざされ、カトリックに出会われたのだと思いました。私は幼いころから仏教に関わってきました。(中略) 現在ノートルダムに通い、学内にあるマリア様の像や教会などがあることが、私にとってなにかも新鮮で良い刺激を得ていると思います。多様な方々とは私にとってノートルダム大学そのもので、私に新たな発見や、考えを教えてくれるものであると思います。

(英語英文学科の学生のコメントより)

(ND教育センター 教授 吉田 智子)

ND教育センター

学生の皆さんへmanabaリマインダ設定のお願い

本学では、学生の皆さんの主体的な学習を推進するため、インターネットを利用した授業支援システム(LMS: Learning Management System 本学ではmanabaとrespon)を導入しています。

manabaには、小テストやアンケート機能、レポート提出機能などがあり、授業でも活用されています。各授業(manabaではコースと表示されます)の重要なお知らせや新しい書き込みなどがあった場合に、それらの更新情報をユーザが登録しているメールアドレス宛に送信するリマインダ機能があります。見逃しなどの防止のため、スマートフォンをお持ちの学生は、必ずリマインダ設定を行ってください。

設定等の質問は、ND教育センター事務室までおこしください。



ND教育センター

ND教育センター  
学習サポートのご案内

前期「ノートルダム学」を中心として学習サポートを行いました。後期も引き続き実施しますので、質問・相談等のある方は事務室におこしください。

場所: ND教育センター事務室(ソフィア館1階)



i-Space

### 2019年度後期イベント案内

i-Spaceでは、学生の語学力向上と異文化理解を目的として、ネイティブの先生が企画するさまざまなイベントを実施しています。前期は、全体で延べ291名の参加がありました。英語が苦手でも大丈夫です。英語を話したい方、国際交流したい方、ぜひおこしください。



- 場所**  
 ユージニア館2階 イマージョン・スペース
- ランチタイムイベント12:30~13:00(前期例)**  
 月:Q&A Cafe  
 火:Pop Culture  
 水:Games Day  
 木:Easy English  
 金:Quizlet

**夕方イベント16:30~17:30(前期例)**  
 Yoga, Cooking club, Craft club, Karaoke Party, Movie night

**スペシャルイベント16:30~17:30**

※後期の開催日や各イベントの内容については、i-Spaceオリジナルサイト、ND教育センター掲示板やイマージョン・スペースでご確認ください。  
 i-Spaceオリジナルサイトオープン!! <https://www.notredame.ac.jp/i-space>

総務課

### 2019年度後期も100円朝食実施中

1日30食限定の日替わり100円朝食、前期はすぐに完売する日が多く大変好評でした。パンまたはご飯、汁物、ワンプレートおかず2品のセットで100円と、たいへんお得に食べることができます。「朝食を抜いて授業に出ることのないよう、しっかり食べてほしい」という保護者会からの補助を受け、安価で提供しています。前期は週2回が洋食、週3回が和食でした。定期的にアンケートを実施し、学生の要望を取り入れたメニューを一品一品丁寧に作っています。後期は2020年1月27日(月)までの提供です。まだ食べたことのない学生は、ぜひ一度食べてみてください。



国際教育課

### 2019年度IELTS対策講座を実施しました(全6回)

2019年6月19日から7月24日までの毎週水曜日に、IELTS対策講座(全6回)を実施しました。

30名が受講し、今回は2名の先生によるオムニバス形式で講義が行われました。各回では「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」のそれぞれの技能のスキルアップを図りました。

課題が出され、先生が一人ひとり丁寧に添削をし、細やかな指導がなされました。また、学生もそれに応えるべく熱心に取り組んでいました。

学生の感想としては、「英語に対するモチベーションが高くなった」、「再受講したい!!」、「先生が宿題を一つ一つチェックしてくれたところがよかった」、「大学の課題するのに役立つ」、「文の構成の仕方やイディオムがたくさん学べた」、「スピーキングのコツがわかり、もっと話せるようになりたいと思った」、「留学のための勉強の準備ができた」などがありました。



IELTS対策講座の様子

## キャリアセンター

## お知らせ

4年次生は、学生生活もあと半年となりました。社会人としての準備もしながら、卒業論文を執筆したり、まだまだ忙しいことでしょう。でも不安や迷いを感じたら、いつでも相談に来てください。

3年次生は、水曜5講時の就職・キャリアガイダンスがいよいよ始まります。必須となるコンテンツがたくさん詰まっています。毎回出席して着実に知識を蓄えていけば、書類や面接の準備は万端です！**毎回必ず**参加してください。早めに就職について知っておきたい1・2年次生の出席も歓迎です。

## ◆キャリアサポーター4期生始動！

就職活動の最新情報を教えてくれる「キャリアサポーター」。4期生も後期より活動開始です。「面接で緊張しないコツは?」「インターンシップは参加した方がいいの?」など、身近な先輩にアドバイスしてもらいましょう。

キャリアセンターからのお知らせは、学内の掲示板やウェブサイト、CampusmateのメールやTwitterでお知らせしています。

## キャリアセンター開室時間

8時45分～18時15分(授業開講日の平日(定期閉室時を除く))

## キャリアセンターホームページアドレス

<http://www.notredame.ac.jp/careercenter/>



## キャリアセンターTwitter

[https://twitter.com/nd\\_career](https://twitter.com/nd_career)



## 総務課

## 「SD研修会」実施報告

学生の夏休み期間を利用し、8月27日(火)に「クレーム対応」をテーマとしたSD研修を実施しました。大学職員として、学生や保護者、近隣住民の方々などから寄せられるご意見やご要望を伺う中で、時には対応に窮する場面もあります。今回の研修では、株式会社インソースの中根きみ絵先生を講師にお招きし、先生ご自身の体験談も交えながら相手の立場に立って言い分を聴くことの重要性を説明いただき、ケースに応じた対応方法を教えていただきました。部署や職位を問わず、約60名の職員が参加しましたが、研修後のアンケートでは「相手に寄り添う対応が大事であることを再認識できた」「クレーム対応だけではなく、普段の業務でも生かせる内容だった」など、有意義な研修であったとの感想が多く見られました。



## 保健室

## 「普通救命講習」実施報告

2019年8月28日(水)、左京消防署から講師をお招きし、教職員対象の「普通救命講習I」を開催しました。今回は総勢20名が参加し、不測の事態に役立つ知識を学びました。

実技講習では、傷病者の観察から119番通報、AEDの準備要請、胸骨圧迫、気道確保、AED使用といった一連の流れを実践しながら行いました。その場に居合わせた人が勇気をもって救命処置をすること、また可能なら複数人が協力して行うことの重要性を学びました。

なお、本学ではAEDを守衛室、保健室前、松ヶ崎グラウンド持出用、計3台設置しています。緊急時に対応できるよう設置場所をご確認ください。教職員対象の救命講習会は毎年夏に実施しています。まだ一度も講習会に参加されていない教職員の方、受講経験がある方も努めて2年毎の受講をしていただきますようお願いいたします。

(\*学生対象の救命講習会は毎年2月にリーダースeminarで実施しています。)



## 行事予定

2019年 10月	3日(木) 5日(土) 9日(水) 10日(木) 14日(月) 15日(火) 16日(水) 18日(金) 19日(土) 23日(水) 25日(金) 26日(土) 28日(月) 30日(水)	仮登録科目3次募集、派遣留学プログラム説明会(セメスター、韓国、姉妹)、図書館:夏期長期貸出返却期限日 公開講座 進路登録票説明会 グローバル英語コース留学説明会Ⅱ (体育の日) 【英文】④卒論草稿提出締切(17:00)、【心理】④卒論ラフコピー提出締切(17:00) 学内キャリアガイダンス(1) 【国日】④卒論草稿締切(17:00) 補講日 学内キャリアガイダンス(2) ND祭準備(授業なし) ND祭、ミニオープンキャンパス(27日(日)とも)(授業なし) 履修中止届出期間(11月1日(金)まで) メイクアップ講座
11月	2日(土) 3日(日) 4日(月) 6日(水) 9日(土) 13日(水) 14日(木) 16日(土) 16日(土) 22日(金) 23日(土) 27日(水) 28日(木)	指定校推薦入試(学内立入禁止) (文化の日) (振替休日)オープンクラス(授業実施) 【全】④日本学生支援機構奨学金返還説明会、学内キャリアガイダンス(3) 公募制推薦入学試験Ⅰ期(学内立入禁止) 学内キャリアガイダンス(4) 物故者追悼ミサ(午前授業なし) 補講日 公開講座 TOEFL ITPテスト(希望者対象16:35~) (勤労感謝の日)第2回大学院説明会、公開講座 学内キャリアガイダンス(5) 【国日】①②分属説明会
12月	2日(月) 4日(水) 6日(金) 7日(土) 8日(日) 9日(月) 10日(火) 11日(水) 14日(土) 16日(月) 19日(木) 21日(土) 24日(火) 25日(水) 26日(木) 29日(日)	【英文・生福】④卒論提出締切(12:00) 【全】①日本学生支援機構奨学金継続説明会、学内キャリアガイダンス(6) 【心理】④認定心理士説明会(16:40~) 公募制推薦入学試験Ⅱ期(学内立入禁止) (創立記念日) 【全】②③日本学生支援機構奨学金継続説明会 【国日】④卒論提出締切(17:00) 【福生テ】②ゼミ選択説明会、学内キャリアガイダンス(7) 図書館:冬期長期貸出開始日 補講日、入試相談会 カトリック女子大学総合スポーツ競技大会(15日(日)とも) 【心理】④卒論提出締切(17:00) ノートルダムクリスマス(13:30開場)(午後授業なし) 補講日、【英文】①②③と④GE生 英語英文学科指定TOEIC-IPテスト 12月の授業最終日 冬期休暇(1月3日(金)まで)(クリスマスの休日) 窓口事務取扱休止(1月3日(金)まで) 年末年始一斉休業(1月3日(金)まで)
2020年 1月	4日(土) 6日(月) 11日(土) 13日(月) 14日(火) 15日(水) 16日(木) 17日(金) 18日(土) 23日(木) 25日(土) 27日(月) 28日(火) 29日(水) 31日(金)	TOEIC IPテスト(希望者対象9:15~) 授業再開 【生福】④口頭試問、【国日】④口頭試問、【心理】④口頭試問(13日(月・祝)、14日(火)とも) (成人の日) 図書館:冬期長期貸出返却期限日 【福生テ】①コース選択説明会・資格説明会 【福生テ】③卒論テーマ届出締切(12:00) 【心理】④認定心理士説明会(16:40~)、社会調査士説明会(認定心理士説明会終了後) 補講日 図書館:春期長期貸出開始日 補講日 後期授業最終日 一般入学試験Ⅰ期(学内立入禁止) 定期試験期間(2/5(水)まで) ※定期試験のほか補講を行うことがある。 【こども】③卒論題目提出締切(17:00)
2月	5日(水) 6日(木) 8日(土) 11日(火) 18日(火) 23日(日) 24日(月)	①英語アチーブメントテスト 【生福】④【福生テ】②③卒業研究発表・懇談会、春期休暇開始(3月31日(火)まで)、リーダーズセミナー(7日(金)とも) 大学院入学試験Ⅱ期 (建国記念の日) 一般入学試験Ⅱ期(学内立入禁止) (天皇誕生日) (振替休日)
3月	2日(月) 11日(水) 12日(木) 14日(土) 20日(金) 22日(日) 24日(火) 31日(火)	後期追試験(1~3年次生)、卒業予定者再試験、転学部・転学科試験 一般入学試験Ⅲ期(学内立入禁止) 卒業式練習(卒業予定者)(13日(金)とも) 卒業式・学位授与式、卒業祝賀パーティー (春の日) オープンキャンパス 【全】新②③④2020年度履修登録(4月上旬に変更予定) 【新②③④】在学生2020年度 定期健康診断(25日(水)とも) 【英文】新②オリエンテーション 編入生オリエンテーション、外国人留学生オリエンテーション(午後)

※①・②・③・④については、学年の数字を表します。(例:①→1年次生、②→2年次生)

## 2018年度卒業生就職実績について

2018年度卒業生の就職率は99.0%となりました。昨年度の卒業生も、広い視野を持ちさまざまな進路を実現しました。

3年次より本格的に始まる就職・キャリアガイダンスでのインプット、グループディスカッション・グループ面接講座やVirtual Recruitでのアウトプットは例年多くの学生が参加しており、ここで格段にキャリア意識が高まります。

その後の就職活動においても、定期的に学生にコンタクトを取り、個々

の状況を把握しながら粘り強くサポートしております。小規模大学の強みを生かし、“顔が見える”からできる求人マッチングや就職支援機関との連携を強化し、就職率99.0%を実現しました。

イベントの開催や個々へのサポート体制は整えておりますが、何よりそれに応えてくれる学生あっての実績です。学生との信頼関係を大切に、一人ひとりに合った支援を続けてまいります。

2018年度卒業生の就職状況は以下のとおりです。(キャリアセンター)

建設・不動産	大和ハウス工業(株) (株)ゼロ・コーポレーション
製造	日本電産リード(株) (株)堀場アドバンステクノ (株)コーセー
情報通信	(株)マイナビ (株)ミライト情報システム
運輸・郵便	全日本空輸(株) 日本航空(株) ANA関西空港(株)
卸売・小売	TOTO関西販売(株) (株)ルネ 資生堂ジャパン(株) シミズ薬品(株) ロクシタンジャパン(株) ヴァレンティノジャパン(株) (株)ナルミヤ・インターナショナル (株)ユナイテッドアローズ
金融・保険	東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株) (株)オリエン特コーポレーション (株)京都銀行
学術研究、専門・技術	プロニクス(株)

宿泊・飲食	(株)星野リゾート・マネジメント (株)ホテルエムズ (株)ジェイアール西日本フードサービスネット
生活関連サービス・娯楽	(株)テイクアンドグヴ・ニーズ
教育、学習支援	東京都教育委員会(小) (学)就実学園就実高等学校中学校(英語) 大阪府豊能地区教職員人事協議会(中学家庭)
幼稚園、保育園	東近江市役所 (学)カトリック京都教区学園アヴェ・マリア幼稚園 栗東市役所 (福)藤森福祉会西福寺幼稚園 洛和会ヘルスケアシステム
医療、福祉	和歌山県庁(精神保健福祉士) (医)主体会主体会病院 (福)京都社会福祉協会 (福)南山城学園 (福)名古屋ライトハウス
サービス	(株)プレシヤパートナーズ (株)MJE
進学	兵庫教育大学大学院 関西大学大学院 京都ノートルダム女子大学大学院

## 編集後記

元号が平成から令和に改まりました。「令和」という名称は、ご存じのように『万葉集』から採られました。天平2(西暦730)年の正月、大宰府の大伴旅人邸で宴が開かれ、梅の花を一同が歌に詠んだ時に添えられた序文の一節「初春令月、気淑風和」にちなんでいます。「令」は正月が初春の良い月であるという美称、「和」は春風がうらかな天気と和してやさしく吹くという意味で、新しい時代が、春風のように穏やかであってほしいという願いが込められています。ここであえて、京都ノートルダム女子大学限定の意味を「令和」に読み取ってみましょう。「令」は「令嬢」、「和」は「調和」の意味が近いでしょうか。「令和」に学ぶ本学の学生諸君が、建学の精神にもとづき、徳をそなえ、知をもって周囲と調和し、感化啓発しあう令嬢となってくれることがわれわれの理想です。教職員一同、心を新たにノートルダムの教育に邁進したいと思います。

(国際日本文化学科 堀 勝博)

● 広報委員長 竹原 広実 ● 広報委員 大川 淳、堀 勝博、佐藤 純、薦田 未央、太田 容次

京都ノートルダム女子大学 大学報  
NDキャンパス通信 Vol.11

2019年10月1日

編集／ 広報委員会  
発行／ 京都ノートルダム女子大学 広報課  
〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地  
URL: <https://www.notredame.ac.jp>  
E-mail: [information@notredame.ac.jp](mailto:information@notredame.ac.jp)  
印刷／ 株式会社ティ・プラス

本誌は京都ノートルダム女子大学保護者会の資金援助を一部受けています。